

## 「計画は5%、実行が95%」

校長 桐野 和之

何か新しいものに取り組むときに、まず、計画を立てるはずですが、勉強でも定期考査前には学習計画を立てます。また、今回の夏休みに入る前にも計画を立てたはずですが、このようにものごとをしっかりとやるべきときは、どのようにやるのか、取り組み方について計画を立てることが大切です。ところが、実際にやってみると計画通りにいかなかったということが多いためではないでしょうか。夏休みの計画などは半分もできなかった、ということもよく聞きます。なぜなのでしょう。

日本や外国で有名な自動車会社を営んでいるカルロス・ゴーンさんは「計画は5%、実行が95%」と言っています。これはどういうことなのでしょう。考えてみてください。

計画を立てるときの気持ちを思い出してみてください。こんなことをやりたい、あんなこともやりたい、こんなことができたらいいなと、あれこれいろいろと想像して考えていると、みんなできそうな気がして楽しくなります。計画を立てているときは夢があり、何もかもすぐに実現できそうな気がするのです。私の中学生のときを思い出してもそうでした。しかし、それは現実のこと、実際のことではありません。計画は、頭の中のこと、計画を書いた紙のうえのことなのです。

計画を実行するためには、次の日から計画にそって一つひとつ実行していかななくてはならないのです。実行しないかぎり計画は実現しません。問題はそこなのです。実行できるかどうかです。頭を使い、手や足などを動かさなくてはなりません。そして、実行すれば上手く実現できることも限りません。ときには失敗もします。いろいろな誘惑に負けたりしてなかなか思うように計画が進まないことがあります。計画通りいかなくて計画より遅れるということもあります。そのようなことをしているうちに最初のころの気持ちが萎えてきて、実行しないことが多くなったりもします。これが計画倒れです。時に計画を忘れることもあります。そうしたことを乗り越えていかなければ計画は実現しないのです。つまり実行し続けることが大切なのです。ゴーンさんはこのことを「計画は5%、実行が95%」と言っているのです。では計画にそって実行を継続しやり遂げるためにはどうすれば良いのでしょうか。

一つは、最初の目標を見失わないようにすることです。何のための計画なのか。夢や希望の実現のためだったはずですが、目標が実現したときの喜びや期待をもう一度あらためて想像してみましょう。元気が出てくるはずですが、目標を忘れないために、紙に書き出して貼っても良いと思います。

もう一つはいろいろな時に計画を見直すことです。一週間、二週間ごとに計画通りに進んでいるかどうか、上手くいっているかどうか、見直すのです。また、失敗することがあればすぐに見直すのです。計画に無理がなかったか、不足していることがなかったかなどを見直して、修正することで次から実行できるようにします。さらに、新しいやり方やさまざまな工夫を考えてみるのも楽しいことです。

このように実行することには努力や工夫が必要ですが、その努力や工夫が目標の実現や成功につながることを考え、立てた計画を確実に実行することをぜひ大切にしてください。



# 海外派遣の抱負

3年 男子生徒

僕が海外派遣でしたいと思っていることは、文化や言葉が違っている人とコミュニケーションをとり、互いに尊重し合うということです。

僕はあまり英語が得意ではありませんが、前から海外に行って外国人と会話を楽しみたいと思っていて、将来的には海外に住みたいとも考えています。そのため、学園中に入塾して、海外派遣があると知ったときから海外派遣に行ってみたくて心の中でずっと思っていました。しかし、海外派遣に行ける人数が男女一人ずつでとても少なく、あまり自分に自信がなかった僕は、一回目の海外派遣の応募はしませんでした。でも、その時は応募しなかったことに対してすごく後悔しました。そのこともあって、二回目の応募の紙が配られた時には、自分が海外派遣に行けるという自信はなかったけれど、行ってみたいという思いと、悔いの残らないようにしたいという思いがあったので、あまり親とは相談せずに応募しました。



結果的に応募には受けましたが、英語の面接試験の時には、テストで英単語を書くのは全然違い、日本語では浮かんでいる言葉を英語で言うことができずに苦労しました。この時僕は、自分の英会話能力がいかに低いかを実感し、これはぜひとも今回の海外派遣を起点に英会話ができるようになりたいと思いました。

これらのことから、オーストラリアでは自信をもって、恥ずかしがらずにコミュニケーションをとれるようになりたいです。また、互いに文化を知り合い、尊重し合いたいです。それらができれば自分の考えている世界が広がるし、将来的にも生かせると思います。そして、自分が得たことは、代表として行っているのだから、代表として学園中の皆さんにも伝えて行けたら良いなと思います。

2年 女子生徒

私が海外派遣に応募したきっかけとして、二つのことが上げられます。

一つは日本とは違う外国独特のコミュニケーションのとりかたを学びたいと思ったからです。日本の文化とは違う、独特で魅力的な文化だからこそ生まれたコミュニケーションのとりかたは、現地へ行き身をもって体験し学ばなければ身につかないことだと思いました。

二つ目は、今自分自身がどれくらいの英語能力をもっているのか確かめたかったからです。英会話のネイティブの先生やALTの先生方とは何とか会話をするのができても、外国に住んでいる人に通じなかったら意味がありません。そういう面でも力をつけていきたいと思ったので応募することになりました。



海外派遣の研修は思っていた以上に大変で毎回苦戦していました。そこでは、毎回のように英作文の作成と暗記の課題、それに加えて、ワークショップでの課題などたくさんの宿題が出されました。それらの宿題が大変なほど終わらせたときの達成感が大きく、次の課題へのやる気を見出してくれるものとなりました。

私は、オーストラリアでの最終日に行われる「きょうならパーティー」のスピーチを担当することになりました。最終日を飾るものとして、より一層頑張らなくてはならないと感じています。その場で、今まで培ってきた経験を活かすことができたら大成功だと思います。まだ、まだ安心はできませんが、学園中生の代表として行かせてもらっていることを忘れず、一生懸命取り組んでいきたいと思っています。そして、学んだことを決して無駄にせず、この経験を活かしていつの日か必ず活躍することをお約束します。

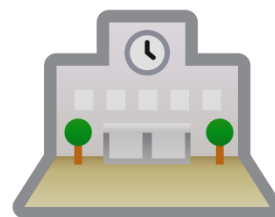
I'll do my best!

# 「目の前のことに夢中になれ！」

PTA会長

みなさんこんにちは、PTA会長の今田香理です。梅雨の真っ只中にも拘らず毎日暑い日が続いていますね。7月に入り、期末考査も終わり、あとは夏休みを待つばかり！でしょうか。

私の中学生時代の夏休みと言えばやはり部活動が思い出されます。吹奏楽部に所属していた私は8月に行われるコンクールに向けて午前中から音楽室に集まり毎日練習しました。先輩からは厳しく注意され、顧問の先生からは何度合せてもダメ出しの連続で、行くのが嫌になるくらいでした。



なのになぜ、30年経った今思い出すと懐かしいのでしょうか。コンクールでは銀賞を取ることができました。あの苦しさを乗り越えたという実体験が、その後の自分の自信の根底になったような気がします。

みなさんにもぜひ、意味がない、無駄な時間としか思えないことを、とことんやりつくしてほしいと思います。今ならそういう生き方ができるからです。食事を作ったり、清潔な衣服を揃えてくれたり、パスモのチャージ代を負担してくれる人がみなさんにはいるから、自分のことだけに集中して突き詰めることができるのです。今は家族がそれをやってくれて当然、顧問の先生方が教えてくれて当然、と思っているかもしれませんが。でも実はそれらはとても恵まれたことで、ありがたく、幸せなことなのです。そしてそういう環境を与えてくれる時間はもう数年しかありません。ですから今を大切に、目の前にあることに全力で取り組んで下さい。しっかりやれば、きっとみなさんの周りの大人も先生も、多少の足りなさは大目に見てくれると思いますよ。



私のこの夏の目標は4時半に起きて気温が上がる前に5~10km毎日ジョギングすることです。みなさんも未来の自分を信じてこの暑い夏を勉強に部活動に全力投球しましょう！ 充実した夏休みを過ごして下さいね。

## 夏休みの生活について

生活指導主任

まもなく42日間の長い夏休みが始まります。この期間、生徒たちは学校を離れ、家庭や地域での生活が中心となります。学園中でも、夏休みに入る前に「夏休みの生活のきまり」を配付し、計画的に規則正しい生活を送るように指導しています。しかし、教員の目が届かないことから開放的となり、さまざまな問題行動が発生しやすい時期となります。特に近年SNS（ソーシャル・ネットワーク・サービス）によるトラブルが多く発生しています。ここではSNSの注意点について触れたいと思います。



### ①人権、プライバシーの保護

スマートフォン等を使用し書き込み等を行う場合は、他人への誹謗・中傷、無責任なうわさなどによって人権やプライバシーを侵害しないように気をつけましょう。特にSNSの中には特定の人とグループが作成できるため、外部には漏れないと言う油断から不適切な発言を発信してしまうことがあり、ネットいじめや、現実のいじめへと発展したケースもあります。

### ②肖像権の保護

自分の顔や姿かたちを勝手に写真に撮られたり、絵に描かれたり、さらにそれを無断で

利用されない権利のことを肖像権といいます。情報端末のカメラを使って気軽に撮影をしている人を良く見かけます。本人の許可なく顔や姿を写真に撮り、その写真をアップロードすることは肖像権の侵害にあたります。一度SNS等にアップロードした写真は、インターネット上に拡散し、回収を求められても、とても困難になるので注意が必要です。

### ③個人情報の保護

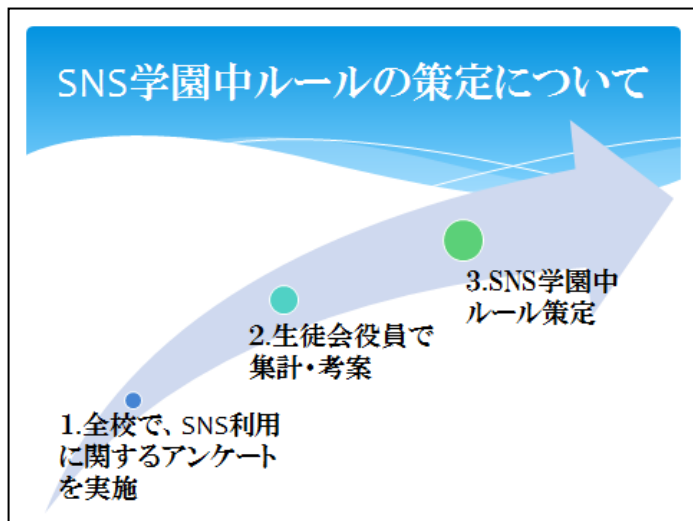
SNSを利用する際に、よく考えず、個人にかかわる情報（学校名、氏名、電話番号、生年月日など）を書き込んでしまうことがあります。書き込まれた情報が何らかの方法で第三者の目に触れることになると、詐欺などの犯罪に利用されることがあります。自分の情報だけでなく、友人などの個人情報についても不用意な書き込みは行わないように気をつけましょう。写真などをアップロードする際に、位置情報が書き込まれていることもあるので設定をしっかりと確認したうえで利用してください。

まだまだ注意すべきことはたくさんあります。そして、SNSを利用していれば誰もがトラブルに巻き込まれる危険があります。夏休みに向けて、ご家庭でももう一度、SNS利用についてのルールの確認や話し合いを行ってほしいと思います。そして、人権や個人情報に配慮することで、この便利な道具を有効に活用しましょう。大きなトラブルに巻き込まれることなく、充実した夏休みを過ごし、新学期には元気に登校してほしいと思います。



※学園中では現在、生徒会を中心として学園中SNSルールの策定を進めています。

## SNS学園中ルール策定に向けて



副校長 今本 由美子

大泉学園中学校では、現在、生徒会役員が中心となって、SNS学園中ルールの策定に取り組んでいます。7月4日の生徒会朝礼では、全校生徒に向けて、プレゼンテーションソフトを用いて、なぜ、SNS学校ルールを作ることが必要なのか、SNSの利用時間や、トラブルの状況、スマートフォン等の使用時間と学力との相関など、具体的にグラフや事例を示しながら説明しました。その後、全校生徒がSNSについてのアンケートに回答し、その結果を基に、役員会で、『学園中』ルール案を作りました。先日、中

央委員会で内容を検討し、現在、全校への発表に向け、最終作業に入っています。

SNSは、正しく使えば『便利』で『楽しい』ものですが、使い方を誤れば『事件』や『トラブル』、『犯罪』に巻き込まれてしまう（人を巻き込んでしまう）ことも…。そうならないために、一人一人が、なぜ、何のために、どのようなルールが必要なのかを考え、自分たちの年齢、生活、環境に応じたルールを決めていくことが大切です。今こそ、私たち使用者がSNSに対する正しい知識をもち、また、情報モラルに対する意識を高めていくことが求められています。

SNSによるトラブルがなく、  
互いに気持ちよく、適切にSNSを  
使いこなせる  
学園中を目指して…

